

浦小だより



6月

石井町浦庄小学校
令和5年5月26日発行

まもなく梅雨入りを迎えます。連日じめじめとしたうっとうしい日が続き、例年、子供たちは外で思い切り体を動かしたくてウズウズする毎日となります。早めに雨の日に備えて物心両面から準備しておきたいものです。今年は、梅雨の期間が長いかもしれません。体調管理に気をつけながら、元気に過ごしていきたいものです。

「6年生修学旅行」

5月11日(木)・12日(金)の2日間6年生が『修学旅行』に出かけました。お天気にも恵まれ、予定通りに観光地を巡ることができました。金閣寺では黄金の輝きに驚き、銀閣寺では、日本のわび・さびを感じることができました。東大寺の大仏さまはとても大きく、大阪城は、思ったよりも高くそびえていました。ホテルでの夕食・朝食ともバイキング形式でたくさんおいしいものを食べました。USJ では、もっともっと楽しめたかったです。



(上の3枚は、金閣寺・銀閣寺・東大寺での様子です。)

下の3枚は、ホテルの朝食バイキング・大阪城・USJ での様子です)

「1~5年生バス遠足」

5月12日(金)に1~5年生が『バス遠足』で大塚美術館と鳴門ウチノ海公園に出かけました。お天気にも恵まれ、予定通りに巡ることができました。大塚美術館では、初めてモナリザやムンクのさげびなどの有名な作品を見ることができました。最後の晚餐などの大型陶板にも驚きました。お弁当も公園の芝生で食べ、とてもおいしかったです。ウチノ海公園では、いろいろな遊具で友達と遊ぶことができました。とても楽しい遠足になりました。



(上の3枚は、大塚美術館での様子です。下の3枚は、公園でのお弁当・遊具遊びの様子です)

アルミ缶リサイクルデー

5月16日(火)は「アルミ缶リサイクルデー」でした。たくさんの子供たちがアルミ缶を持ち登校しました。さっそくつぶしてまとめました。約30キログラム集まりました。回収へのご協力をありがとうございました。年度末には「車いす」を購入して寄付する予定です。今後ともご協力をお願いいたします。



1年生を迎える会

5月18日(木)に「1年生を迎える会」を行いました。6年生の考えたゲームやプレゼントが次々と出されました。1年生の自己紹介では、「よろしくお願いします。」という言葉もあり、上級生が1年生を思いやりながら、和やかな雰囲気が進みました。1年生のみなさんが一日も早く学校生活になじんでほしいと思います。



1. 2年生校内探検

5月19日(金)1,2年生が、校内探検をしました。6つのグループに分かれて、挨拶や自己紹介をしながら教室を巡りました。校長室では、歴代の校長先生の写真を見て、近藤前校長先生の思い出を話してくれたり、トロフィーを抱いてみたりと興味津々の様子でした。「みんながたくさんトロフィーをとってきてくれたら飾らせてね。」と約束もしました。楽しい学校生活を過ごしてくれたらうれしいなあと思いました。



交通安全教室

5月23日(火)に徳島名西署員さん・浦庄駐在所員さん・交通安全指導員さん・地区交通安全協会の方にご指導いただき、交通安全教室を開きました。1,2年生は、道路の横断の仕方について腹話術で教えていただき、運動場の特設コースで練習しました。3~6年生は運動場の特設コースで自転車の乗り方について練習しました。教えていただいたことをきちんと守って、交通安全に気をつけて生活してほしいと願っています。



保護者の皆さまへお願い

6月2日(金)授業参観日

今年度2度目の参観日となります。換気や参観者の手指消毒等、感染予防対策を講じながらの参観となりますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。詳しい日程等については、配付しました授業参観案内文書をご覧ください。

新型コロナウイルス感染について

第5類移行後も本校では、感染者が出ています。深刻な症状の報告はないものの、今だ心配は絶えません。インフルエンザ感染時と同じように手洗い・うがいと換気に気をつけて学校生活を過ごさせていますが、必要に応じてマスクの着用も指示しています。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

6月の行事予定

- 2(金) 参観授業 13:55~ 学校運営協議会
- 7(水) 21(水) スクールカウンセラー来校
- 8(木) 郡統一研究会
3年生のみ 図工科授業 (他学年 13時下校)
プール開き
- 9(金) 昆虫教室 全校生
林太郎先生(オンライン)
委員会活動⑥
- 13(火) 水泳インストラクター指導 2,3年生に
- 15(木) アルミ缶リサイクルデー
- 16(金) クラブ活動⑥
- 19(月) 町教育委員会学校訪問
- 20(火) 学校安全の日
- 23(金) クラブ活動⑥
- 30(金) 委員会活動⑥
- ☆交通指導日
6/1(木)・6/9(金)・
6/20(火)です。
よろしくお願いいたします。

7月の行事予定

- 20(木) 第一学期終業式
- 24(月) 個人懇談1日目
- 25(火) 個人懇談2日目
- 26(水) 個人懇談3日目
- 28(金) 個人懇談4日目

学校行事の様子は「浦庄小学校ホームページ」でもご覧いただけます。

※県内の感染状況の変化により、中止になる場合もあります。

第2話 「父母恩重經」

校長閑話

私に「育英(いくえ)」と名付けてくれた父母が急逝してから早数年が経ちます。

その間、幾重もの悲しみと父母に対するたくさんの感謝の気持ちでいっぱいになり、出会ったのがこの「父母恩重經」です。今では私の教育の原点となっています。

「ありがとう。」その一言でみなが幸せな気分になれます。「ありがとうございました。」それは親への感謝から始まるのではないかと今になって、気づくのです。

仏教では、親の大恩を次のように十種に分けて具体的に教え、その恩に報いるために仏法の実践を促しています。親に感謝の気持ちでいっぱいになった時、それがみなに幸せを運ぶのではないかと思います。

- ①懐胎守護の恩(かいたいしゅご)の恩 = 「おなかの中で育てる苦」
初めて子を体内に受けてから十か月の間、苦悩の休む時がないために、他の何もほしがる心も生まれず、ただ一心に安産ができることを思うのみである。
- ②臨生受苦の恩(りんしょうじゅく)の恩 = 「産んでくれる苦」
出産時には、陣痛による苦しみは耐え難いものである。父も心配から身や心がおののき恐れ、祖父母や親族の人々もみな心を痛めて母と子の身を案ずるのである。
- ③生子忘憂の恩(しょうしぼうゆう)の恩 = 「産声をうれしく聞く」
出産後は、父母の喜びは限りない。それまでの苦しみを忘れ、母は、子が声をあげて泣き出したときに、自分もはじめて生まれてきたような喜びに染まるのである。
- ④乳哺養育の恩(にゅうほよういく)の恩 = 「百八十石もの母乳を与えてくれる」
花のような顔色だった母親が、子供に乳をやり、育てる中で数年間で憔悴しきってしまう。
- ⑤廻乾就湿の恩(かいかんじつじつ)の恩 = 「子が小便すれば湿った方に親が寝る」
水のような霜の夜も、氷のような雪の暁にも、乾いた所に子を寝かせ、湿った所に自ら寝る。
- ⑥洗濯不浄の恩(せんかんふじょう)の恩 = 「汚物もいとわず洗いすすぐ」
子がふところや衣服に尿するも、自らの手にて洗いすすぎ、臭穢(しゆうえ)をいとわない。
- ⑦嚙苦吐甘の恩(えんくとかん)の恩 = 「甘いものを子に与え、自らは苦いものをとる」
親は不味いものを食べ、美味しいものは子に食べさせる。
- ⑧為造悪業の恩(いぞうあくごう)の恩 = 「子のためにあえて罪を犯し地獄にさえいく」
子供のためには、止むを得ず、悪業をし、悪しきところに落ちるのも甘んじる。
- ⑨遠行憶念の恩(おんぎょうおくねん)の恩 = 「子が遠くへ行けば、寝ても覚めても憂う」
子供が遠くへ行ったら、帰ってくるまで四六時中心配する。
- ⑩究竟憐愍の恩(くつきょうれんみん)の恩 = 「子が病めば、身代わりになることを願う」
自分が生きている間は、子の苦しみを一身に引き受けようとし、死後も、子を護りたいと願う。

これらの親の恩の重いことは、天に極まりがないようなものです。まさに有り難きかな親の恩。その恩に素直に感謝できる人間を育てることが人づくりの原点であると私は、考えます。

浦庄小学校では、「思いやりの心」を大切に、「子どもたちの心を豊かに育てよう」と全教職員が一丸となって、がんばっています。「ありがとう」と言える。言われる。生活をめざしています。

今後ご家庭と学校がいっしょになって、取り組んでいけたなら、きっとこの心の「ありがとう」の種は、大輪の花を咲かせることでしょう。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

豊かな心



こんな子供に育てたいの一例

先日、私の不注意で指をケガしたのですが、その時に兄の〇〇が、すぐにかけてよってきて「大丈夫？」と、声をかけてくれて、妹の〇〇は、すぐに絆創膏を持ってきて貼ってくれました。そして、その後数日間、手が動かしにくい私を心配して、たくさんの手伝いをしてくれました。本当に助かりうれしかったのでケガの痛みはすぐに消えました。ある小学校でのエピソードから